



テンプレートン世界バリュー株式ファンド(愛称:ビクトリア号)の10月16日の基準価額の下落について

2008年10月16日の当ファンドの基準価額は、前日比596円安(▲10.61%)の5,022円となりました。

1. 基準価額下落の主な要因

10月15日の世界の株式市場は、世界的な景気後退懸念が強まっていることを背景に大きく下落しました。欧米各国政府の公的資金による金融機関への資本注入や欧州における銀行間取引への政府保証などにより、週明け以降、世界の株式市場では金融危機が一段と拡大する懸念はとりあえず鎮静化する兆しを見せました。しかし、15日に発表された9月の米国小売売上高が前月比▲1.2%と過去3年で最大の減少となったことなど、实体经济面での悲観的な見方が強まったことから、再び世界各国の株式市場は下落したものとされます。

為替市場では、世界的に景気後退懸念が強まっているものの、日本は欧米諸国と比べ金融不安や景気後退懸念が比較的弱いことから、円はドルをはじめとする主要通貨に対して買われました。

2. 今後の見通し

世界的な金融危機拡大への不安は和らぎつつあるものの、今後株式市場では個人消費や企業設備投資の落ち込みなど实体经济悪化のリスクに注目が向けられるものと思われまます。投資環境の不透明感が強いなか、投資家心理が好転するには時間を要すると思われることから、当面世界の株式市場は値動きの荒い展開が予想されます。

(主要株価指数)

| | 2008年10月14日 | 2008年10月15日 | 騰落率 |
|------------------------------|-------------|-------------|--------|
| MSCI World AC インデックス(米ドルベース) | 396.045 | 367.931 | ▲7.10% |
| 米国(ダウ工業株30種平均株価指数) | 9,310.99 | 8,577.91 | ▲7.87% |
| 欧州(ダウユーロ50種株価指数) | 2,756.74 | 2,578.06 | ▲6.48% |
| 英国(FT100指数) | 4,394.21 | 4,079.59 | ▲7.16% |

(為替レート 円/主要通貨)

(出所:ブルームバーグ)

| | 200810月14日 | 2008年10月15日 | 騰落率 |
|------|------------|-------------|--------|
| 米ドル | 101.90 | 100.15 | ▲1.72% |
| ユーロ | 139.03 | 135.17 | ▲2.78% |
| 英ポンド | 177.55 | 173.05 | ▲2.53% |

※グリニッジ標準時17時の為替レート

以上

● MSCI インデックスは、MSCIが開発した時価総額株価指数です。同指数の著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。また、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。なお、同指数はグロス配当込みを使用しています。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面および投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

◆投資信託説明書(目論見書)のご請求・ファンドのお申込みは

◆設定・運用は

フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第391号
加入協会:社団法人投資信託協会、
社団法人日本証券投資顧問業協会

ファンドの概要

| | |
|--------|-------------------------------|
| ●商品分類 | 追加型株式投資信託／ファンド・オブ・ファンズ |
| ●信託設定日 | 2007年12月19日 |
| ●信託期間 | 無期限 |
| ●決算日 | 原則2、5、8、11月の各20日(休業日の場合は翌営業日) |

ファンドの特色

1 実質的に世界各国の株式に投資を行います。

当ファンドは、フランクリン・テンプレートン・グループが運用する2つの外国投資証券(以下「投資対象ファンド」)を通じて、主として世界各国の株式に投資を行い、投資信託財産の長期的な成長を目指します。
※2つの投資対象ファンドの組入れは、投資対象ファンドの資金動向や資産状況等を勘案して行います。

2 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

投資対象ファンドは、複数の通貨建ての有価証券等に投資しますので為替相場の変動の影響を受けません。

3 年4回(2、5、8、11月)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

※分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合があります。

<投資対象ファンド>

1. バリュー株式へ投資を行います。

テンプレートンの投資理念に基づいて評価した企業価値に対して、現在の株価が著しく割安と判断される銘柄を選定し、“バーゲンリスト”を作成します。“バーゲンリスト”の中から、主に配当利回りが魅力的な銘柄に投資します。

2. 特定の業種、国、地域等への投資配分を定めず、ボトム・アップ アプローチによって世界各国の株式市場の中からベストバリューを探し出します。

3. 組み入れる株式は、新興国の株式を含みます。

4. 為替ヘッジは行いません。

※「ビクトリア号」が投資する外国投資証券は円建てです。

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面および投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<主な投資リスク> 当ファンドの投資にあたっては、主として下記のようなリスクが想定されます。

当ファンドの運用により生じた利益および損失はすべて投資家の皆様に帰属します。取得申込者は、当ファンドのリスクを認識することが求められます。当ファンドが有する主なリスクは以下の通りです。(なお、当ファンドのリスクは以下に限定されるものではありませんのでご注意ください。)

| | |
|-------------------|--|
| 1.価格変動リスク | <p>○有価証券等の価格変動リスク 当ファンドは、投資信託証券(投資対象ファンド)への投資を通じて世界各国の株式などの値動きのある有価証券等に投資します。したがって、当ファンドの基準価額は、当ファンドおよび投資対象ファンドが組み入れたこれら有価証券等の市場価格の変動による影響を受けます。</p> <p>○為替変動リスク 外貨建資産への投資を行う場合には、為替相場の変動による影響を受けます。当ファンドは、実質的に複数の通貨建ての有価証券等に投資し、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替相場の変動の影響を受けます。</p> |
| 2.流動性リスク | <p>市場規模や取引量が少ない場合、組入有価証券等を売却する際に市場実勢から期待される価格で売却できない可能性があり、不測の損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額は、その影響を受けることがあります。</p> |
| 3.信用リスク | <p>当ファンドおよび投資対象ファンドが保有する有価証券等の発行体および有価証券等の取引の相手方の経営・財務状況の変化ならびにそれらに関する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額は、その影響を受けることがあります。</p> |
| 4.カントリーリスク | <p>世界各国の金融・証券市場への投資は、それらの国・地域の政治、経済および社会情勢の変化等によって市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな制限や規制が設けられた等の場合には、運用上の制約を受ける可能性があります。このような場合に、当ファンドの基準価額は、その影響を受けることがあります。また、新興国の金融・証券市場への投資には、政治・経済構造が先進国と比べ不安定であるため、投資環境の急変により市場が混乱した場合や取引に対して新たな制限や規制が設けられた場合、運用上の制約を大きく受ける可能性が想定されます。このような場合に、当ファンドの基準価額は、その影響を受けることがあります。</p> |

※その他、ご投資にあたっては、ご留意事項がございますので投資信託説明書(目論見書)をご覧ください。

<投資信託ご購入時の注意点>

- 当ファンドは、外国投資証券への投資を通じて、主として世界各国の株式に投資を行います。当ファンドの基準価額は、外国投資証券および外国投資証券の組み入れた有価証券等の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、外国投資証券および外国投資証券の組み入れた有価証券等の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託は預金等ではなく、預金保険機構の保険金の支払対象ではありません。
- 投資信託は保険契約ではなく、保険契約者保護機構の補償対象契約ではありません。
- 投資信託は元本は保証されていません。
- 登録金融機関は、金融商品取引業者とは異なり、投資者保護基金に加入していません。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

フランクリン・テンプレートン・グループとは...

- フランクリン テンプレートン インベストメンツは、米国において60年以上の歴史を持ち、世界29カ国に50以上の拠点を有する独立系資産運用グループです。
- フランクリンやテンプレートンのブランドで広く親しまれているプロダクトを通じて、個人や法人のご投資家の皆様にそれぞれの投資目的や資産運用ニーズに応じた運用商品やサービスを提供しています。
- グループの持株会社であるフランクリン・リソーシズ・インク(ニューヨーク証券取引所に上場)は、1998年4月に資産運用会社としては初めて米国株式市場の代表的指数である「S&P500」に採用されました。

| | |
|----------------------------------|--|
| 設立 | 1947年 |
| 本拠地 | 米国カリフォルニア州サンマテオ市 |
| 運用総資産 | 5,802億米ドル(約61.5兆円*) |
| 拠点 | 29カ国50拠点以上 |
| 従業員数 | 8,800人以上 |
| 持株会社 | フランクリン・リソーシズ・インク (ニューヨーク証券取引所上場、S&P500採用銘柄) (2008年6月末現在) |
| *2008年6月末WMロイター(1ドル=106.005円)で換算 | |

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面および投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

<お申込みメモ> (お申込みの際は投資信託説明書(目論見書)をご覧ください)

| | | | |
|------------|--|--------------------------------|----------------|
| 信託設定日 | 2007年12月19日 | | |
| 信託期間 | 原則として無期限 ※ただし受益権の残存口数が5億口を下回ることになった場合、受益者のために有利と認められる場合、やむを得ない事情が発生したとき等は、信託を終了する場合があります。 | | |
| お申込み | 原則としていつでもお申込みいただけます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日には取得のお申込みはできません。取得申込みの受付は、原則として午後3時(わが国の証券取引所が半休日の場合の受付は午前11時)までとします。これらの受付時間を過ぎてからのお申込みは翌営業日の取扱いとなります。 | | |
| お申込価額 | 取得申込受付日の翌営業日の基準価額です。 | | |
| 決算日 | 原則として、2月、5月、8月、11月の各20日(ただし、当該日が休業日の場合は、翌営業日)です。 | | |
| 収益分配 | 毎決算時に収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 | | |
| 換金価額 | 換金請求受付日の翌営業日の基準価額です。 | | |
| ご換金 | 原則としていつでもご換金の請求ができます。ただし、ニューヨーク証券取引所またはニューヨークにおける銀行の休業日には、ご換金の請求の受付を行いません。※ご換金の請求の受付は、原則として午後3時(わが国の証券取引所が半休日の場合は午前11時)までとします。これらの受付時間を過ぎてからのご換金の請求は翌営業日の取扱いとなります。 | | |
| ご換金代金のお支払い | 原則として換金請求受付日から起算して5営業日目以降になります。 | | |
| お申込単位 | コース | 分配金の取り扱い | お申込単位 |
| ご換金単位 | 一般 | 収益分配時に分配金をお支払いします。 | 販売会社がそれぞれ定める単位 |
| | 自動けいぞく投資 | 分配金は原則として、税引後自動的に無手数料で再投資されます。 | 販売会社がそれぞれ定める単位 |
| 課税関係 | <p><2008年12月31日まで> 原則として、収益分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。</p> <p><2009年1月1日から> 個人の受益者の場合は収益分配時の普通分配金ならびに一部解約時および償還時の譲渡益(解約価額および償還価額から取得費用(申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等に相当する金額を含みます。))を控除した利益)が、法人の受益者の場合は収益分配時の普通分配金ならびに一部解約時および償還時の個別元本超過額が課税対象となります。</p> <p>※税法が改正された場合には、上記の内容が変更になることがあります。</p> | | |

【お客様には以下の費用をご負担いただきます。】

| | |
|---------------------------|---|
| ■お申込時に直接ご負担いただく費用 | |
| お申込手数料 | 3.675%(税抜3.5%)を上限として販売会社がそれぞれ定める手数料率を取得申込受付日の翌営業日の基準価額に掛けて得た額です。詳しくは販売会社にお問い合わせください。なお、「自動けいぞく投資コース」をお申込みいただいた方が、収益分配金を再投資する場合には、お申込手数料はかかりません。 |
| ■ご換金時に直接ご負担いただく費用 | |
| ご換金手数料 | ありません。 |
| 信託財産留保額 | ありません。 |
| ■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用 | |
| 信託報酬率 | 純資産総額に対し年率1.2075%(税抜1.15%)です。 (投資対象ファンドの加重平均運用報酬率※は年率0.65%程度が上限となります。したがって、これらを合計した当ファンドの報酬率は年率1.8575%程度が上限(概算)となります。)※運用報酬の他に管理費用等がかかります。 |
| その他費用 | ・ファンドの財務諸表の監査に要する費用・信託事務の処理に要する諸費用・有価証券の保管費用 ・組入る有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料等 (その他費用については、運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を示すことができません。) |

※手数料・費用等には事前に計算できないものがあるため、その合計額を表示することができません。

<委託会社、その他の関係法人>

委託会社 : フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社

受託会社 : 三菱UFJ信託銀行株式会社

基準価額等については、委託会社の下記照会先までお問い合わせ下さい。
電話番号 : 03-3535-1299 (9:00~17:00 土・日・祝日および12月31日・1月2日・1月3日を除く)
ホームページ : <http://www.franklintempleton.co.jp/>

販売会社 : お取扱販売会社は委託会社にお問い合わせいただくか、以下のホームページをご覧ください。
http://www.franklintempleton.co.jp/japan/jsp_cm/funds/victoria_dist_list.jsp

当資料は、フランクリン・テンプレートン・インベストメンツ株式会社が作成したものです。取得のお申込みに当たっては、最新の「契約締結前交付書面および投資信託説明書(目論見書)」をお渡ししますので、必ず内容を確認のうえご自身でご判断ください。投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境などにより変動します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)。したがって、元本保証はありません。市場環境等の評価、分析は、将来の運用成果等を保証するものではありません。当資料に記載された運用実績(税引前)は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。